



札幌西支部

林 俊一

Toshikazu Hayashi

私の出身地は道南の北斗市(旧大野町)で、北海道における水田発祥の地という場所で生まれました。農家の長男坊として小学生の頃は、よく手伝いをさせられ、子供心にいやだった思い出があります。高校は農業とは全く縁のない水産高校に入学し、水産経営、水産製造などを学び、職業高校ならではの楽しい経験を積みました。

就職は、同級生のほとんどは漁業あるいは水産関連の会社に入るケースが多かったのですが、なぜか公務員試験を受けて、偶然に合格してしまい税務の世界に飛び込むことになりました。

農家出身でありながら農業高校ではなく水産高校に入学し、水産関連の会社に就職すると思いきや公務員になるなど、ここまで一貫性のない人生を歩みました。

税務の世界に入り、42年間勤めましたので、ここで何とか我慢の人生を歩んできたのかなと思っています。

税務署では主に法人税査定を歩んできまして、その中でも大法人の調査を担当する調査課というところの勤務が10年ほどありました。

特に、超大規模法人の調査を担当する部署が長かったこともあり、そこで、仕事を通じて企業の経済取引の実態を学ぶことができ、貴重な経験をしたと思っています。

また、一年間だけですが国税を退職し、預金保険機構というところに勤務し、機構の仕事の中身、整理回収機構(RCC)との関係や警察、検察、裁判所出身の職員と一緒に仕事を通じて知り合えたことなど、非常に有意義な経験をさせていただきました。

縁あって新入会員となりました。

どうぞこれからもよろしくお願ひします。